



The Clay Science Society of Japan

一般社団法人日本粘土学会 2023 年度総会議案書

日 時:2023 年 9 月 12 日(火)11:30～12:30
場 所:仙台市戦災復興記念館 2 階 記念ホール
(宮城県仙台市青葉区大町 2-12-1)

総 会 次 第

開 会

総会の成立報告

会長挨拶

議長の選任

議事録署名人の指名

I. 審議事項

第 1 号議案 2023 年度事業報告

第 2 号議案 2023 年度収支決算報告及び監査報告

第 3 号議案 2024 年度事業計画

第 4 号議案 2024 年度収支予算

第 5 号議案 4 月以降に入会する学生会員の年会費について

II. 報告事項

1. 2023 年度学会賞等の受賞者

2. 2023 年度学術振興賞の受賞者

3. 第 66 回粘土科学討論会の開催状況

4. 理事の削減について

5. その他

閉 会

一般社団法人日本粘土学会 2023年度事業報告書
(2022年8月1日～2023年7月31日)

1. 学術雑誌の編集と発行

(1) 粘土科学

2022年8月:第61巻2号を発行。掲載内容:第65回粘土科学討論会のお知らせ(プログラム等),日本粘土学会2022年度総会案内,その他

2022年8月:粘土科学編集委員の選任を行った。

2022年9月:粘土科学ウェブサイトにおいて編集委員会編集委員長,編集委員リストを更新した。

2022年12月:第61巻3号を発行。掲載内容:2023・2024年度会長就任のご挨拶,新常務委員長挨拶,2022年度日本粘土学会学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞・論文賞・優秀発表賞の選考結果報告,2022年度学術振興賞の受賞報告,2023年度日本粘土学会学会賞等(学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞)受賞候補者の募集,2023年度日本粘土学会学術振興賞の募集,第66回粘土科学討論会の予告,第65回粘土科学討論会報告,第65回粘土科学討論会シンポジウム開催報告,研究グループ活動報告,学会記事,その他

2023年3月:第62巻1号を発行。掲載内容:第66回粘土科学討論会のお知らせ(講演申込み等),論文,解説,学会記事,その他

2023年6月:粘土科学に掲載する企業広告の募集を行った。

本年度の論文受付数:1編、受理数:1編(解説2号掲載予定)、審査中:0編

(2) Clay Science

2022年9月8日:2023年度第1回Clay Science編集委員会(対面)

2022年12月1日:第26巻3-4号(合冊)公開。Invited Review 1編、Letter 1編、Paper 2編

2022年の論文受付:6編(うちInvited Review 2編)、受理6編

2023年6月21日:第27巻1-2号(合冊)公開。Invited Review 1編、Letter 1編、Paper 2編

2023年の論文受付(7月30日現在):6編、うち受理5編

2. 研究発表会・見学会等の開催

(1) 第65回粘土科学討論会(島根大学)の開催

2022年9月7日(火)～8日(水):第65回粘土科学討論会(島根大会)を開催した。講演数及び参加登録者、懇親会参加者は次のとおり。

1) 講演数:シンポジウム講演5件、会長講演1件、一般講演 口頭発表40件、ポスター発表38件、合計84件。

2) 参加登録者:会員(正,シニア,名誉,共催・協賛・後援学協会会員を含む)72名、学生会員(共催学会学生会員を含む):17名、一般非会員:19名、学生非会員:26名、合計134名

(2) 第66回粘土科学討論会(仙台)の準備

1) 2022年12月 第66回粘土科学討論会の開催予告をホームページに掲載した。

2) 第66回粘土科学討論会の開催について(予告)(1stサーキュラー)を粘土科学(第61巻,第3号,2022年)に掲載した。

3) 2023年3月 第66回粘土科学討論会のお知らせ(1stサーキュラー)をホームページに掲載した。

4) 2023年3月 第66回粘土科学討論会のお知らせ(2ndサーキュラー)を粘土科学(第62巻,第1号,2023年)に掲載した。

3. シンポジウム・セミナーの開催

(1) 第65回粘土科学討論会でのシンポジウム開催

1) 2022年9月7日に「粘土科学における最新の計算予測、現象理解の深化」として講演者5名で開催した。

2) 粘土科学第61巻第3号掲載のための第65回粘土科学討論会シンポジウム報告を作成した。

(2) 第66回粘土科学討論会でのシンポジウムの準備

第66回粘土科学討論会でシンポジウム企画を企画委員会で議論した。テーマは「カーボンニュートラ

ル実現に向けた粘土科学の役割」として、6名の講師による講演（35分／1件）を計画した。

4. 参考粘土試料

日本粘土学会参考粘土試料として、カオリナイト(関白)、ディッカイト(勝光山)、パイロフィライト(勝光山)、モンモリロナイト(月布)、モンモリロナイト(三川)、合成サポナイト(クニミネ工業)、ハイドロバイオタイト(南アフリカ)の7種類の頒布を行った。

2022年8月1日～2023年7月31日までの頒布状況は以下の通りである。申込件数は計24件で、海外からの申込は0件であった。

JCSS-1101c	カオリナイト(関白)	1200g	(申込:12件)
JCSS-1301	ディッカイト(勝光山)	500g	(申込:4件)
JCSS-2101	パイロフィライト(勝光山)	200g	(申込:2件)
JCSS-3101b	モンモリロナイト(月布)	1500g	(申込:10件)
JCSS-3102	モンモリロナイト(三川)	200g	(申込:2件)
JCSS-3501	合成サポナイト(クニミネ工業)	600g	(申込:4件)
JCSS-5501	ハイドロバイオタイト(南アフリカ)	200g	(申込:2件)

5. 広報

主にホームページ・Twitterを通じた情報発信を行った。

2022年8月:ホームページ更新(粘土科学討論会、会員手続きについて)

2022年9月:ホームページ更新(議事録、共催・協賛、会長挨拶、理事監事常務委員リスト、粘土科学・Clay Science、学会賞)

2022年10月:ホームページ更新(共催・協賛)

2023年1月:ホームページ更新(議事録・討論会報告)

2023年3月:ホームページ更新(共催・協賛)

2023年4月:ホームページ更新(共催・協賛)

2023年5月:バナー広告継続(クニミネ工業株式会社様、2023年5月から1年間)、ホームページ更新(討論会のお知らせ)

2023年6月:ホームページ更新(共催・協賛、年会費のお知らせ)

その他適宜:Twitter(Clayscience最新号の案内等)

6. 渉外

2023 AIPEA Newsletter の原稿は1月6日に送付し、受理の返信は頂いた。なお、発行の連絡は頂いていない。(4月に発行されていることはHPで確認)

7. 表彰

(1)学会賞等

2022年9月7日開催の2022年度表彰式で、次のとおり学会賞等の受賞者が表彰された。

学会賞 笹井 亮(島根大学 大学院自然科学研究科)

受賞題目「層状複水酸化物の陰イオン交換特性の機構解明と機能材料化」

奨励賞 渡邊保貴(一般財団法人電力中央研究所)

受賞題目「ベントナイトの鉱物学的変質と工学的性質に関する一連の研究と土木工学的応用への貢献」

早川崇之(株式会社ホーゲン 応用粘土科学研究所)

受賞題目「新規ベントナイト製品の開発」

技術賞 ソブエクレ株式会社

受賞題目「タルクの長年における産業利用や商品化及びジオポリマー用メタカオリンの製品化」

論文賞 K. Tamura, H. Yamashita, T. Kogure, M. Morita, A. Yamagishi, and H. Sato

受賞論文:REMOVAL OF CESIUM IONS FROM RADIOACTIVELY CONTAMINATED SOILS USING MICROWAVE TREATMENT, Clay Science, 25, 7-11 (2021).

論文賞 万福裕造・藤原英司・武田良彦・佐藤努・成田尚宣・鈴木正哉・西方美羽・山田裕久・万福和子・金田由衣・矢板毅

受賞論文:メカノケミカル法による汚染土壌からのセシウムイオン脱離挙動, 粘土科学 第60巻

第2号11-20(2021).

(2)学術振興賞

原田拓海(山口大学大学院 創成科学研究科)

受賞発表: Hybridization of organic compound onto optically manipulated clay surface

平出有吾(東京都立大学大学院 都市環境科学研究科)

受賞発表: Adsorption and aggregation behavior of tetracationic porphyrins on clay and titania nanosheets

8. 研究促進

粘土科学の研究を促進するため、研究グループの設立を認めて活動資金の一部(5万円)援助を実施する。活動中の研究グループは「粘土科学若手の会」の1件である。

9. 庶務

(1) 他学会等との連絡・協力

1) 日本地球惑星科学連合(JpGU)関連事項

(学協会長会議:2022.5.31.(水)ZOOM, 川俣会長が出席、小口が傍聴)

- ・ JpGU2023年大会の報告:2023.5.21~26、幕張メッセにてハイブリッド開催。セッション数230、巡検の初開催などイベントや講習会も多数紹介。
- ・ PEPS:JpGUのみではなく参加学協会との共同の学術誌であるとあらためて紹介。2022年の5年IFは4.09、CiteScoreは7.0。
- ・ 日本学術会議関連:ロードマップ2023(学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想)の公募、日本学術会議改正法案の今国会提出断念までの経緯などの報告

(2) 関連学協会との共催・協賛

期間中に下記の協賛7件、共催0件、後援1件 合計8件の依頼があった。

- ・ 第26回IUPAC化学熱力学国際会議(ICCT-2023)2023年7月30日(日)~8月4日(金)日本熱測定学会及びInternational Association of Chemical Thermodynamics(IACT)
- ・ 熱測定オンライン講習会2023 2023年6月15日(木),6月30日(金),7月14日(金),7月28日(金)日本熱測定学会
- ・ 第59回X線分析討論会2023年10月21日(土)~10月22日(日)(公社)日本分析化学会X線分析研究懇談会
- ・ 第12回環境放射能除染研究発表会2023年8月30日(水)~8月31日(木)一般社団法人環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会
- ・ 2023年度日本セラミックス協会 資源・環境関連材料部会講演会「世界に誇る日本のセラミックス焼結体技術」2023年10月18日(水)13:00~19:00 日本セラミックス協会資源・環境関連材料部会・(地独)東京都立産業技術研究センター
- ・ POWTEX2023 国際粉体工業展大阪2023 2023年10月11日(水)~13日(金)
[オンライン展2023年9月27日(水)~11月10日(金)]一般社団法人日本粉体工業技術協会
- ・ 日本化学会「低次元系光機能材料研究会」第12回サマーセミナー2023 2023年9月15日(金)~16日(土)日本化学会「低次元系光機能材料研究会」
- ・ JAAS年次大会2023「会いに行ける科学者フェス」2023年10月7日(土)~10月13日(金)10月10日(火)~13日(金)はオンラインのみ 日本科学振興協会(JAAS)

(3) 会員動向

会員種別	2019/9/10	2020/9/15	2021/9/14	2022/9/7	2023/8/19
名誉会員	18	14	12	14	15
シニア会員	10	14	15 (停止 1)	15(停止 1)	12
正会員	273	258 (停止 1)	260 (停止 3)	252(停止 3)	256(停止 1)
学生会員	22	18	15 (補候 2)	18(停止 2)	23(停止 1)
賛助会員 1 級	7	7	7	7	6
賛助会員 2 級	7	7	7	6	5
賛助会員 3 級	13	13	12	12	11
会員数	350	331	328	324	328

(停止) : 会費 2 年以上未納による会員資格停止者数、(候補) : 会員資格停止候補者数

10. 常務委員会及び理事会

(1) 常務委員会

2023 年度事業の業務を執行するため、下記のとおり常務委員会を開催した。

9 月 8 日 (木) 第 1 回常務委員会

主な議題: 2023 年度年間スケジュール、2023 年度常務委員の役割分担、粘土科学討論会について

1 月 21 日 (土) 第 2 回常務委員会

主な議題: 2023 年度事業中間報告、2023 年度会計中間報告、収支健全化に向けた WG 答申について、期末に入会する学生の取り扱いについて、粘土科学討論会申し合わせについて、CMS-Asian Clay 合同会議の現状報告、その他

7 月 15 日 (土) 第 3 回常務委員会

主な議題: 2023 年度事業中間報告、2023 年度会計中間報告、2024 年度業務委託契約、2024 年度事業計画、2024 年度予算、2023 年度日本粘土学会学会賞等選考結果、2023 年度日本粘土学会学術振興賞選考結果、2023 年度総会の開催日時と形式について、CMS-Asian Clay 合同会議の現状報告、第 66 回粘土科学討論会について、参考粘土試料にかかる論文のページチャージなどについて、2024 年度日本粘土学会常務委員会・理事会開催日程について、その他

(2) 理事会

9 月 7 日 (水) 第 1 回理事会

主な議題: 2023 年度年間スケジュール、2023 年度常務委員の役割分担、各種委員会委員の選出、粘土科学討論会について

1 月 21 日 (土) 第 2 回理事会

主な議題: 2023 年度事業中間報告、2023 年度会計中間報告、収支健全化に向けた WG 答申について、期末に入会する学生の取り扱いについて、粘土科学討論会申し合わせについて、CMS-Asian Clay 合同会議の現状報告、粘土科学討論会について、「粘土科学」文献情報の AGROPEdia での公開について、その他

7 月 15 日 (土) 第 3 回理事会

主な議題: 2023 年度事業中間報告、2023 年度会計中間報告、2024 年度業務委託契約、2024 年度事業計画、2024 年度予算、2023 年度日本粘土学会学会賞等選考結果、2023 年度日本粘土学会学術振興賞選考結果、2023 年度総会の開催日時と形式について、CMS-Asian Clay 合同会議の現状報告、第 66 回粘土科学討論会について、2024 年度日本粘土学会常務委員会・理事会開催日程について、その他

一般社団法人日本粘土学会 2023年度会計会計決算報告書(7月)
(2022年8月1日～2023年7月31日)

1. 2023年度一般会計収支計算書
 - (1) 参考: 2023年度学会誌出版事業
 - (2) 参考: 学会誌在庫状況(資料としての保管分を除く)
 - (3) 参考: 第65回粘土科学討論会 決算書
 - (4) 参考: 2023年度参考粘土試料頒布事業
2. 2023年度学術振興積立金
3. 2023年度貸借対照表
4. 2023年度財産目録

1. 2023年度一般会計収支計算書

一般社団法人日本粘土学会 2023年度 一般会計決算報告書
(2022年8月1日～2023年7月31日)

(単位:円)

科 目	予算額 (2022.8.1～2023.7.31)	決算額 (2022.8.1～2023.7.31)	差 異	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入	2,649,500	2,513,000	136,500	
正会員会費収入	1,841,000	1,725,500	115,500	当年度7,000円×241名(未納者21名)
シニア会員会費収入	49,000	42,000	7,000	過年度7,000円×5名、3,500円×1名(種別変更による追納)
学生会員会費収入	59,500	45,500	14,000	当年度3,500円×12名(未納者1名)
賛助会員会費収入	700,000	700,000	0	当年度3,500円×12名(未納者8名)
				過年度3,500円×1名(未納者1名)
				当年度40,000円×7社、30,000円×6社、 20,000円×12社
② 学会誌出版事業収入	594,600	886,000	-291,400	
粘土科学誌収入	399,200	535,260	-136,060	
粘土科学誌委託販売収入	35,200	36,960	-1,760	21冊 単価1,760円(下記定価×0.8)
粘土科学誌購読料収入	44,000	79,200	-35,200	36冊 単価2,200円
粘土科学誌掲載料・別刷収入	100,000	199,100	-99,100	1件
粘土科学誌バックナンバー収入	0	0	0	
粘土科学誌広告収入	220,000	220,000	0	粘土科学 単発70,000円×1社、年間150,000円×1社
ClayScience誌収入	195,400	350,740	-155,340	
ClayScience誌委託販売収入	35,200	59,340	-24,140	33冊 単価1,760円(下記定価×0.8)+送料
ClayScience誌購読料収入	60,200	25,200	35,000	6冊 単価2,200円、英文冊子購読料3,000円×4名
ClayScience誌投稿料・別刷収入	100,000	266,200	-166,200	6件(前期未収1件31,900円含む)
ClayScience誌バックナンバー収入	0	0	0	
③ 一般事業収入	1,142,000	2,122,000	-980,000	
討論会収入	742,000	1,716,000	-974,000	第65回粘土科学討論会(島根大学 松江キャンパス)
参加料収入	742,000	1,156,000	-414,000	
見学会収入	0	0	0	
懇親会収入	0	0	0	
広告収入	0	160,000	-160,000	
補助金収入	0	400,000	-400,000	1件、くにびきメッセ(松江市コンベンションビュロー)
参考粘土試料頒布事業収入	300,000	306,000	-6,000	25件
パンナー 広告収入	100,000	100,000	0	2023年4月請求・支払分(2023.06-2024.05)
④ その他収入	100,000	101,817	-1,817	
受取利息収入	0	70	-70	
雑収入	100,000	101,747	-1,747	著作権使用料(学術著作権協会)
事業活動収入計	4,486,100	5,622,817	-1,136,717	
2. 事業活動支出				
① 学会誌出版事業費支出	1,380,000	1,319,044	60,956	
粘土科学誌刊行費支出	730,000	698,830	31,170	
印刷製本費支出	600,000	645,480	-45,480	61巻2号(38頁460部)、61巻3号(38頁460部)、 62巻1号(14頁460部)
別刷印刷製本費支出	80,000	44,275	35,725	61巻2号カラーチャージ
J-STAGE登録費支出	50,000	9,075	40,925	61巻2号
ClayScience誌刊行費支出	530,000	513,260	16,740	
印刷製本費支出	400,000	368,610	31,390	CS26巻3・4合併号(34頁150部)、 CS27巻1・2合併号(24頁150部)
別刷印刷製本費支出	80,000	74,250	5,750	CS26巻3・4合併号、CS27巻1・2合併号 別刷・カラーチャージ
J-STAGE登録費支出	50,000	70,000	-20,000	CS26巻3・4合併号、CS27巻1・2合併号
発送費支出	120,000	106,954	13,046	61巻2号、61巻3号・CS26巻3・4合併号、62巻1号、 CS27巻1・2合併号 4回分
② 一般事業費支出	1,378,000	1,565,631	-187,631	
討論会開催費支出	445,000	992,890	-547,890	第65回粘土科学討論会(島根大学 松江キャンパス)
討論会運営費支出	445,000	992,890	-547,890	会場費、formrun費用、要旨集J-Stage費用、 討論会アルバイト代他
見学会費支出	0	0	0	
懇親会費支出	0	0	0	
ホームページ管理更新費支出	128,000	118,800	9,200	8-7月委託費
参考粘土試料頒布事業費支出	180,000	142,926	37,074	
各種委員会等運営費支出	0	0	0	
学術交流費支出	10,000	10,000	0	地球惑星科学連合会費
国際交流費支出	120,000	135,640	-15,640	AIPEA2023年度会費
顕彰費支出	25,000	54,846	-29,846	賞状・賞状ホルダー
学術振興費支出	150,000	50,000	100,000	
研究グループ活動資金支出	50,000	4,454	45,546	第13回若手研究者研究発表会 招待講演謝金
会議費支出	270,000	56,075	213,925	
理事会支出	100,000	0	100,000	
常務委員会支出	100,000	56,075	43,925	Zoom費用、常務委員会交通費
その他会議費支出	70,000	0	70,000	
③ 管理費支出	70,000	81,530	-11,530	
租税公課支出	70,000	81,530	-11,530	法人都民税、役員改選時登録免許税・印紙税
④ 事務費支出	1,655,707	1,803,853	-148,146	
業務委託費支出	1,525,707	1,551,441	-25,734	国際文献社8-7月委託費、司法書士登録報酬
旅費交通費支出	0	109,544	-109,544	事務局旅費、会計監査旅費
通信運搬費支出	90,000	102,826	-12,826	サーバー料金、送料
事務消耗品費支出	20,000	29,518	-9,518	8-7月コピー代、角2封筒代(1000枚)
雑費支出	20,000	10,524	9,476	残高証明書、振込手数料等
事業活動支出計	4,483,707	4,770,058	-286,351	
事業活動収支差額	2,393	852,759	-850,366	
II. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
積立金受入収入	150,000	50,000	100,000	
投資活動収入計	150,000	50,000	100,000	
2. 投資活動支出				
積立金預入支出	150,000	0	150,000	
投資活動支出計	150,000	0	150,000	
投資活動収支差額	0	50,000	-50,000	
III. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	2,393	902,759	-900,366	
前期繰越収支差額	4,634,006	4,634,006	0	
次期繰越収支差額	4,636,399	5,536,765	-900,366	

(1) 参考：2023年度学会誌出版事業

学会誌出版事業 2023年度 決算報告書
(2022年8月1日～2023年7月31日)

粘土科学誌 (単位:円)

収入の部	決算額 (2022.8.1～2023.7.31)	支出の部	決算額 (2022.8.1～2023.7.31)
委託販売収入	36,960	印刷製本費支出	645,480
購読料収入	79,200	別刷印刷製本費支出	44,275
掲載料・別刷収入	199,100	J-STAGE登録費支出	9,075
バックナンバー収入	0		
広告収入	220,000		
収入合計	535,260	支出合計	698,830
収入-支出	-163,570		

ClayScience誌 (単位:円)

収入の部	決算額 (2022.8.1～2023.7.31)	支出の部	決算額 (2022.8.1～2023.7.31)
委託販売収入	59,340	印刷製本費支出	368,610
購読料収入	25,200	別刷印刷製本費支出	74,250
掲載料・別刷収入	266,200	J-STAGE登録費支出	70,400
バックナンバー収入	0		
収入合計	350,740	支出合計	513,260
収入-支出	-162,520		

収支 (単位:円)

決算額	収入の部 (2022.8.1～2023.7.31)	支出の部 (2022.8.1～2023.7.31)	収支差額 (2022.8.1～2023.7.31)
粘土科学誌	535,260	698,830	-163,570
ClayScience誌	350,740	513,260	-162,520
発送費		106,954	-106,954
合計	886,000	1,319,044	-433,044

【直近の学会誌各巻号の委託販売・購読の収入の推移】

巻号	委託販売収入(円)	購読料収入(円)
粘土科学57巻	44,928	95,040
粘土科学58巻	50,144	69,360
粘土科学59巻	47,520	66,000
粘土科学60巻	44,000	72,600
粘土科学61巻	42,240	72,600
粘土科学62巻	22,880	33,000
Clay Science22巻	139,968	51,840
Clay Science23巻	147,104	23,800
Clay Science24巻	66,880	8,800
Clay Science25巻	42,240	13,200
Clay Science26巻	50,540	8,800
Clay Science27巻	8,800	4,400

冊子体購読	購読料収入(円)
Clay Science 冊子体購読料 2019年度	111,000
Clay Science 冊子体購読料 2020年度	108,000
Clay Science 冊子体購読料 2021年度	90,000
Clay Science 冊子体購読料 2022年度	48,000
Clay Science 冊子体購読料 2023年度	12,000

(2) 参考:学会誌在庫状況(資料としての保管分を除く)

2023年7月31日現在

(単位:部)

粘土科学誌 巻号	在庫	Clay Science誌 巻号	在庫
55-1		2 21-1	2
55-2		2 21-2	2
55-3		2 22-1	2
56-1		2 22-2	2
56-2,3		2 22-3	2
57-1		2 22-4	2
57-2		2 23-1	2
57-3		2 23-2	2
58-1		2 23-3	2
58-2		2 23-4	2
58-3		2 24-1	2
59-1		2 24-2・3・4	2
59-2		2 25-1・2	2
59-3		2 25-3・4	2
60-1		2 26-1・2	2
60-2		2 26-3・4	10
60-3		2 27-1・2	10
61-1		2	
61-2		10	
61-3		10	
62-1		10	
		総計 116 (上記の学会誌は、外部倉庫にて保管)	

※ 販売、新入会員へ配布する分は、上記とは別に必要最小部数を取り置きしている。

2023年度第2回理事会(令和5年1月21日(土))において承認→学会誌の保管費削減のため、発行後1年を過ぎたものは2冊とする。

(3) 参考：第65回粘土科学討論会 決算書

収支決算額((A)-(B))
¥723,110

収入	単価	数量	金額	資料番号
正会員, 共催・賛助会員 事前	¥7,000	78	¥546,000	
正会員, 共催・賛助会員 当日	¥9,000	7	¥63,000	
学生会員, 共催・賛助学生会員 事前	¥3,000	17	¥51,000	
学生会員, 共催・賛助学生会員 当日	¥5,000	0	¥0	
一般非会員 事前	¥15,000	10	¥150,000	
一般非会員 当日	¥17,000	7	¥119,000	
学生非会員 事前	¥8,000	25	¥200,000	
学生非会員 当日	¥10,000	2	¥20,000	
名誉会員 事前	¥7,000	1	¥7,000	
企業広告費	¥20,000	8	¥160,000	
松江コンベンションビューロー補助金	¥400,000	1	¥400,000	(1)
小計		(A)	¥1,716,000	

支出	内訳	単価	数量	金額	資料番号
Formrun使用料金		¥14,278	4	¥57,112	(a)
文房具類	押しピン	¥333	10	¥3,330	(b)
	マグネットスリムバー(10本入り)	¥721	1	¥721	(b)
	ネームホルダー(ブルー 50枚入り)	¥2,399	4	¥9,596	(b)
	メンディングテープ(6巻き入り)	¥1,900	2	¥3,800	(b)
	ネームホルダー(レッド 50枚入り)	¥2,399	1	¥2,399	(b)
	シンポジウム講演者記念盾用フォトフレーム	¥1,799	5	¥8,995	(b)
	文房具	¥1,320	1	¥1,320	(b)
ハイブリッド対応関係	ディスプレイポートケーブル	¥4,080	1	¥4,080	(c)
	HDMIスプリッター	¥2,380	1	¥2,380	(c)
	機器類発送料金(宮崎大学 伊藤先生宛)	¥1,050	1	¥1,050	(c)
衛生用品関係	ウェットシート	¥1,962	1	¥1,962	(d)
	検温システム賃貸料金	¥50,160	1	¥50,160	(d)
	料金振込手数料	¥330	1	¥330	(d)
	コンビニATM利用手数料	¥110	1	¥110	(d)
当日配布物関係	プログラム冊子印刷費	¥58,500	1	¥58,500	(e)
	料金振込手数料	¥330	1	¥330	(e)
	コンベンションバック費用	¥13,200	1	¥13,200	(e)
	料金振込手数料	¥110	1	¥110	(e)
ポスター会場関係	パネルレンタル・設置・撤去・現状復帰費用	¥165,000	1	¥165,000	(f)
	料金振込手数料	¥110	1	¥110	(f)
会議関係	弁当代	¥114,000	1	¥114,000	(g)
	料金振込手数料	¥110	1	¥110	(g)
J-Stage関係	登載費	¥106,975	1	¥106,975	(h)
	料金振込手数料	¥550	1	¥550	(h)
アルバイト関係	事前準備および当日(時給1000円)	¥303,000	1	¥303,000	(i)
	事後(時給1000円)	¥83,000	1	¥83,000	(i)
	予算振替手数料	¥165	2	¥330	
	残金学会送付時手数料	¥165	2	¥330	
小計			(B)	¥992,890	

(4) 参考：2023年度参考粘土試料頒布事業

参考粘土試料 2023年度 決算報告書
(2022年8月1日～2023年7月31日)

(単位:円)

収入の部	決算額 (2022.8.1～2023.7.31)	支出の部	決算額 (2022.8.1～2023.7.31)
試料売り上げ(25件)	306,000	試料代金	122,650
		事務手数料	17,471
		振込手数料	2,805
収入合計	306,000	支出合計	142,926
収入-支出	163,074		

2. 2023年度学术振興積立金

学术振興積立金 2023年度 決算報告書 (2022年8月1日～2023年7月31日)

(単位:円)

科 目	予算額 (2022.8.1～2023.7.31)	決算額 (2022.8.1～2023.7.31)	差 異	備 考
学术振興積立金 増加分				
前年度繰越金	2,561,284	2,561,284	0	
一般会計より	150,000	0	150,000	
学术振興積立金 減少分				
本年度引当金	150,000	50,000	100,000	
次年度繰越金	2,561,284	2,511,284	50,000	

3. 2023年度貸借対照表

一般社団法人日本粘土学会 2023年度 貸借対照表
(2023年7月31日現在)

(単位:円)

科 目	決 算 (2023.7.31現在)	期 首 (2022.8.1現在)	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
預 金	6,959,565	6,338,606	620,959
未収金	139,200	87,900	51,300
前払費用	500,000	0	500,000
流動資産合計	7,598,765	6,426,506	1,172,259
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) その他の固定資産			
特定資産			
学術振興積立金預金	2,511,284	2,561,284	-50,000
その他の固定資産合計	2,511,284	2,561,284	-50,000
固定資産合計	2,511,284	2,561,284	-50,000
資産合計	10,110,049	8,987,790	1,122,259
II. 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	271,000	13,000	258,000
前受会費	1,791,000	1,779,500	11,500
流動負債合計	2,062,000	1,792,500	269,500
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	2,062,000	1,792,500	269,500
III. 正味財産の部			
前期繰越正味財産	7,195,290	7,195,290	0
当期正味財産増減額	852,759	0	852,759
正味財産合計	8,048,049	7,195,290	852,759
負債及び正味財産合計	10,110,049	8,987,790	1,122,259

補足

・前受金、前受会費： 期首の金額については、期首時というより前期末残であり、期首においては実際は振替済となっている。

4. 2023年度財産目録

一般社団法人日本粘土学会 2023年度 財産目録
(2023年7月31日現在)

(単位：円)

科 目	場所・物等	目的等	決 算 (2023.7.31現在)	期 首 (2022.8.1現在)	増 減
I. 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金			6,959,565	6,338,606	620,959
郵便振替	ゆうちょ銀行	運転資金・年会費受入	1,831,567	724,855	1,106,712
普通預金	みずほ銀行	運転資金	5,127,998	4,746,974	381,024
	三菱UFJ銀行	運転資金	0	866,777	-866,777
未収金 掲載料、参考粘土 前払費用		第66回討論会	139,200	87,900	51,300
流動資産合計			7,598,765	6,426,506	1,172,259
2. 固定資産					
その他の固定資産 特定資産 普通預金	みずほ銀行	学術振興積立金	2,511,284	2,561,284	-50,000
固定資産合計			2,511,284	2,561,284	-50,000
資産合計			10,110,049	8,987,790	1,122,259
II. 負債の部					
1. 流動負債					
前受金			271,000	13,000	38,000
	学会誌広告収入		220,000	0	0
	CS冊子体購読料		51,000	6,000	45,000
	討論会参加費		0	7,000	-7,000
前受会費			1,791,000	1,779,500	11,500
	正会員		1,239,000	1,134,000	105,000
	シニア会員		28,000	38,500	-10,500
	学生会員		14,000	7,000	7,000
	賛助会員		510,000	600,000	-90,000
流動負債合計			2,062,000	1,792,500	269,500
2. 固定負債					
固定負債合計			0	0	0
負債合計			2,062,000	1,792,500	269,500
正 味 財 産			8,048,049	7,195,290	852,759

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 資金の範囲について

資金の範囲については、預金、未収金、前払費用、前受金、前受会費を含めることにしている。

2. 次年度繰越金の内容は、次の通りである。

科 目	当期末残高
預金	6,959,565
未収金	139,200
前払費用	500,000
前受金	(271,000)
前受会費	(1,791,000)
次期繰越収支差額	5,536,765

3. 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込み方式によって行っている。

一般社団法人日本粘土学会 2024年度事業計画書
(2023年8月1日～2024年7月31日)

1. 学術雑誌の編集と発行

(1) 粘土科学

学会誌「粘土科学」を下記の通り3回発行する。

2023年8月：第62巻2号を発行予定。掲載内容：第66回粘土科学討論会のお知らせ（プログラム等）、日本粘土学会2023年度総会案内、論文、学会記事、その他

2023年12月：第62巻3号を発行予定。掲載内容：2023年度日本粘土学会学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞・論文賞・優秀発表賞の選考結果報告、2023年度学術振興賞の受賞報告、2024年度日本粘土学会学会賞等（学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞）受賞候補者の募集、2024年度日本粘土学会学術振興賞の募集、第67回粘土科学討論会のお知らせ、粘土科学討論会報告、研究グループ活動報告、論文、学会記事、その他

2024年3月：第63巻1号を発行予定。掲載内容：第67回粘土科学討論会のお知らせ（講演申込み等）、論文、解説、学会記事、その他

(2) Clay Science

2023年9月：2024年度第1回Clay Science編集委員会(対面)

英文学会誌「Clay Science」を下記の通り発行する

2023年9月 Vol.27, No.3 発行予定

2023年12月 Vol.27, No.4 発行予定

2024年3月 Vol.28, No.1 発行予定

2024年6月 Vol.28, No.2 発行予定

2. 研究発表会・見学会等の開催

(1) 第66回粘土科学討論会(仙台)の準備と開催

2023年8月 発表形式の確定と必要な機材の確認・準備。講演要旨集の作成。プログラムに掲載する広告の募集。参加者の名札および領収書類等の準備。など

2023年9月 会場の設営。使用する機材（会場で必要な機器：プロジェクター、マイク、レーザーポインタ、ベル、ストップウォッチなど、リモートで必要な機器）の準備。領収書の準備。研究発表会・懇親会・見学会の実施。

2023年10月 討論会の会計処理と会計報告書の作成、粘土科学に掲載する討論会報告書の作成。

2024年1月 常務委員会及び理事会で第66回粘土科学討論会の開催・会計報告。

(2) 第67回粘土科学討論会(九州工業大学)の2024年9月開催への準備

2023年12月 討論会の開催予告をホームページに掲載する。

2024年1月 討論会の開催計画を作成する。

2024年2月 事務局から関連学会への共催・後援の依頼を行う

2024年3月 第67回粘土科学討論会のお知らせ（講演申込等）を粘土科学およびホームページに掲載する。

2024年6月 講演申込の受付を行う。

2024年7月 講演プログラム（案）を作成する。第67回粘土科学討論会のお知らせ（プログラム等）を粘土科学に掲載する。講演要旨に掲載する企業広告の募集を行う。

3. シンポジウム・セミナーの開催

第67回粘土科学討論会でのシンポジウムの準備

第67回粘土科学討論会でのシンポジウム・セミナーの企画及び実施に向けた準備を行う。シンポジウムテーマは理事会に諮って決定する。5～6名の講師を依頼し、開催時間は実行員会と相談の上決定する。シンポジウムの開催に向けて、以下の準備を行う。

2024年1月末シンポジウム概略を草案

2024年2月末スケジュール決定、講演者確定・依頼

2024年3月末粘土科学及びHP掲載の案内作成

2024年6月末講演者確定への連絡、予稿原稿の依頼

2024年7月中予稿原稿の収集・提出

4. 参考粘土試料

日本粘土学会参考粘土試料として、以下の7種類の粘土鉱物試料の頒布を行う。また、粗製イモゴライト(鹿沼)を参考粘土試料に加えて頒布を開始する。

JCSS-1101c カオリナイト(関白)

JCSS-1301 ディッカイト(勝光山)

JCSS-2101 パイロフィライト(勝光山)

JCSS-3101b モンモリロナイト(月布)

JCSS-3102 モンモリロナイト(三川)

JCSS-3501 合成サポナイト(クニミネ工業)

JCSS-5501 ハイドロバイオタイト(南アフリカ)

5. 広 報

学会ホームページの更新、粘土科学Q&Aに対する対応、バナー広告の掲載、ツイッターを利用した各種案内等の送信を行う。2024年度ホームページの主な更新内容の予定を以下に示す。

2023年8月：総会開催のお知らせ、2023年度第4回理事会及び常務委員会議事録の掲載。

2023年10月：2023年度総会議案書・総会議事録、2024年度第1回理事会及び常務委員会議事録の掲載。

2023年12月：第67回粘土科学討論会予告の掲載。

2024年1月：2024年度日本粘土学会学会賞等(学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞)受賞候補者の募集、2024年度日本粘土学会学術振興賞の募集の掲載。

2024年2月：2024年度第2回理事会及び常務委員会議事録の掲載。

2024年3月：第67回粘土科学討論会のお知らせ(講演申込み予告等)の掲載。

2024年6~7月：第67回粘土科学討論会のお知らせ(プログラム等)、各種申込みフォーム、2024年度第3回理事会及び常務委員会議事録の掲載。

その他適宜：CMS-Asian Clay 合同会議のお知らせ

6. 渉 外

AIPEA ニュースレターの作成及び送付、2024年に予定している米国粘土学会とAsian Clayの合同会議に向けた協力等を行う。

7. 表 彰

(1) 学会賞等

2024年度日本粘土学会賞等(学会賞、功績賞、奨励賞、技術賞)の受賞候補者の推薦を募集する。募集方法は粘土科学及びホームページへの募集記事の掲載と会員へのメール配信とする。選考委員会において受賞候補者の選考を行う。また、粘土科学誌およびClay Science誌に掲載された論文の中から論文賞受賞候補論文の選考を行う。各賞の受賞候補者数は、学会賞：1名以内、功績賞：若干名、奨励賞：2名以内、技術賞：2名(件)以内、論文賞：原則として2編とする。

(2) 学術振興賞

2024年度学術振興賞の募集を行う。募集方法は粘土科学及びホームページへの募集記事の掲載と会員へのメール配信とする。応募者に対して選考委員会で受賞候補者の選考を行う。受賞者数は2名以内とする。

8. 研究促進

粘土科学の研究を促進するため、研究グループの設立を認めて活動資金の一部を援助する。研究グループの活動期間は原則として3年とし、活動資金の援助は活動期間を通して1回限り5万円とする。

9. 庶 務

(1) 他学会等との連絡・協力

公益社団法人日本地球惑星科学連合の団体会員として地球惑星科学系学会との連携を継続するとともに、日本学術会議の動向に関する情報収集を行う。

(2) 関連学協会との共催・協賛

粘土科学にかかわる各部門の学協会が開催する学会、講演会、展示会等の共催・協賛を行いつつ、連携と協力を進める

(3) 会員動向

会員動向の適切な把握に努めると共に、ホームページの会員マイページの利用を勧める。

10. 常務委員会及び理事会

(1) 常務委員会

2024年度事業の業務を執行するため、下記のとおり常務委員会を開催する。

9月13日（水）第1回常務委員会

主な議題：2024年度常務委員の役割分担、2024年度年間スケジュール、粘土科学討論会について

1月20日（土）第2回常務委員会

主な議題：2024年度事業中間報告、2024年度会計中間報告、第67回粘土科学討論会について、その他

7月13日（土）第3回常務委員会

主な議題：2024年度事業中間報告、2024年度会計中間報告、2025年度事業計画、2025年度予算、2024年度学会賞等の選考結果、2024年度学術振興賞選考結果、第67回粘土科学討論会プログラム及びシンポジウム、その他

8月17日（土）第4回常務委員会

主な議題：2024年度事業報告、2024年度会計決算及び監査報告、2024年度総会議案書、第67回粘土科学討論会について、その他

(2) 理事会

2024年度事業の業務執行を決定するため、下記のとおり理事会を開催する。

9月12日（火）第1回理事会

主な議題：2024年度常務委員構成、2024年度委員会委員（学会賞等選考委員会委員、学術振興積立金運営委員会委員、他）の選出、2024年度年間スケジュール、粘土科学討論会について

1月20日（土）第2回理事会

主な議題：2024年度事業中間報告、2024年度会計中間報告、第67回粘土科学討論会について、その他

7月13日（土）第3回理事会

主な議題：2024年度事業中間報告、2024年度会計中間報告、2025年度事業計画、2025年度予算、2024年度学会賞等の選考結果、2024年度学術振興賞選考結果、第67回粘土科学討論会プログラム及びシンポジウム、その他

8月17日（土）第4回理事会

主な議題：2024年度事業報告、2024年度会計決算及び監査報告、2024年度総会議案書、第67回粘土科学討論会について、その他

一般社団法人日本粘土学会 2024年度一般会計収支予算案
(2023年8月1日～2024年7月31日)

(単位:円)

科 目	2024年度 予算額 (2023.8.1～2024.7.31)	2023年度 予算額 (2022.8.1～2023.7.31)	差 異	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入	2,524,500	2,649,500	-125,000	(参考:2023年6月末会員数(資格停止者除く))
正会員会費収入	1,813,000	1,841,000	-28,000	7,000円×259名
シニア会員会費収入	45,500	49,000	-3,500	3,500円×13名
学生会員会費収入	56,000	59,500	-3,500	3,500円×16名
賛助会員会費収入	610,000	700,000	-90,000	30,000円×9社、30,000円×9社、40,000円×1社 2023年度:1社、2社、2社、2社
② 学会誌出版事業収入	525,280	594,600	-69,320	
粘土科学誌収入	330,280	399,200	-68,920	
粘土科学誌委託販売収入	14,080	35,200	-21,120	8冊 単価1,760円(下記×0.8) 2023年度:8冊
粘土科学誌購読料収入	46,200	44,000	2,200	21冊 単価2,200円 2023年度:21冊
粘土科学誌掲載料・別刷収入	50,000	100,000	-50,000	1件 2023年度:1件
粘土科学誌バックナンバー収入	0	0	0	2023年度:0冊
粘土科学誌広告収入	220,000	220,000	0	粘土科学 単価70,000円×1社 年間150,000円×1社
ClayScience誌収入	195,000	195,400	-400	
ClayScience誌委託販売収入	35,200	35,200	0	20冊 単価1,760円(下記×0.8) 2023年度:28冊
ClayScience誌購読料収入	59,800	60,200	-400	4冊 単価2,200円、英文冊子体購読料3,000円×17名
ClayScience誌投稿料・別刷収入	100,000	100,000	0	2023年度: 4冊 購読4名
ClayScience誌バックナンバー収入	0	0	0	2件 2023年度:2件
ClayScience誌バックナンバー収入	0	0	0	2023年度:0冊
③ 一般事業収入	1,625,000	1,142,000	483,000	
討論会収入	1,225,000	742,000	483,000	第66回粘土科学討論会(仙台)
参加料収入	657,000	742,000	-85,000	会員7,000円×69名、学生会員3,000円×14名、 非会員15,000円×4名、学生非会員8,000円×9
見学会収入	108,000	0	108,000	一般8,000円×13名、学生4,000円×1名
懇親会収入	460,000	0	460,000	一般8,000円×53名、学生4,000円×9名
広告収入	0	0	0	
講演要旨集(大会時)収入	0	0	0	
参考粘土試料頒布事業収入	300,000	300,000	0	25件 2023年度:25件
パネル広告収入	100,000	100,000	0	1件
④ その他収入	100,000	100,000	0	
受取利息収入	0	0	0	
雑収入	100,000	100,000	0	著作権使用料(学術著作権協会)など
事業活動収入計	4,774,780	4,486,100	288,680	
2. 事業活動支出				
① 学会誌出版事業費支出	1,030,000	1,380,000	-350,000	
粘土科学誌刊行費支出	470,000	730,000	-260,000	62巻2号(420部)、62巻3号(420部)、63巻1号(420部) 2023年度:各460部
印刷製本費支出	400,000	600,000	-200,000	収入の8掛け相当と試算
別刷印刷製本費支出	40,000	80,000	-40,000	3件相当
J-STAGE登録費支出	30,000	50,000	-20,000	
ClayScience誌刊行費支出	480,000	530,000	-50,000	
印刷製本費支出	340,000	400,000	-60,000	27巻3・4号(110部)、28巻1・2号(110部) 2023年度:各150部
別刷印刷製本費支出	80,000	80,000	0	収入の8掛け相当と試算
J-STAGE登録費支出	60,000	50,000	10,000	6件相当
発送費支出	80,000	120,000	-40,000	3回分相当 2023年度:4回
② 一般事業費支出	2,215,000	1,378,000	837,000	
討論会開催費支出	962,000	445,000	517,000	
討論会運営費支出	394,000	445,000	-51,000	収入の5掛け相当と試算
見学会費支出	108,000	0	108,000	収入の10掛け相当と試算
懇親会費支出	460,000	0	460,000	収入の10掛け相当と試算
ホームページ管理更新費支出	128,000	128,000	0	8-7月委託費
参考粘土試料頒布事業費支出	150,000	180,000	-30,000	収入の5掛け相当と試算
各種委員会等運営費支出	0	0	0	
学術交流費支出	10,000	10,000	0	地球惑星科学連合会費
国際交流費支出	640,000	120,000	520,000	AIPEA2023年度会費、CMS-Asian Clay預託金
顕彰費支出	25,000	25,000	0	賞状・賞状ホルダー
学術振興費支出	150,000	150,000	0	3件(Asian Clayあるため 例年2件)
研究グループ活動資金支出	50,000	50,000	0	若手の会等
会議費支出	100,000	270,000	-170,000	オンライン化、一部対面
理事会支出	0	100,000	-100,000	
常務委員会支出	100,000	100,000	0	
その他会議費支出	0	70,000	-70,000	
③ 管理費支出	70,000	70,000	0	
租税公課支出	70,000	70,000	0	法人住民税、印紙税
④ 事務費支出	1,695,707	1,655,707	40,000	
業務委託費支出	1,525,707	1,525,707	0	国際文献社2023.8～2024.7月委託費
旅費交通費支出	50,000	0	50,000	事務局旅費、会計監査旅費
通信運搬費支出	80,000	90,000	-10,000	サーバー料金、送料
事務消耗品費支出	20,000	20,000	0	8-7月コピー代等
雑費支出	20,000	20,000	0	残高証明書、振込手数料等
事業活動支出計	5,010,707	4,483,707	527,000	
事業活動収支差額	-235,927	2,393	-238,320	
II. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
積立金受入収入	150,000	150,000	0	
投資活動収入計	150,000	150,000	0	
2. 投資活動支出				
積立金預入支出	400,000	150,000	250,000	基金への積み立て(2023年度90万円からAsian Clayの預託金50万円を除く40万円を積み立て)
投資活動支出計	400,000	150,000	250,000	
投資活動収支差額	-250,000	0	-250,000	
III. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	-485,927	2,393	-488,320	
前期繰越収支差額	5,536,765	4,634,006	902,759	
次期繰越収支差額	5,050,838	4,636,399	414,439	

4 月以降に入会する学生会員の年会費について

現行の会費規定を次のように改める。

1. 変更の理由

粘土科学討論会で発表するために会員となった学生会員は、すぐに翌年度の会費を納入しなければならず、本人の負担が大きい。そのために退会する学生会員がいると日本粘土学会としても会員減につながる。

2. 変更の内容

変更の内容は以下の通り。

(下線は変更部分)

現行	変更案
会費規定(会費)第 1 条 「会員は当該年度の 12 月末日までに下記の会費を納入しなければならない。」 (以下省略)	会費規定(会費)第 1 条 「会員は当該年度の 12 月末日までに下記の会費を納入しなければならない。 <u>ただし、1 月以降に入会した会員は当該年度中に納入すればよいものとする。さらに、4 月以降に入会した学生会員は、翌年度の会費を免除する。</u> 」 (以下省略)

3. 解説

学生会員の納付に関しては、入会時期別に以下の通り。

時期		A 年 12 月	B 年 1-3 月	B 年 4-7 月	B 年 8 月-
日本粘土学会の事業年度		B 年度			C 年度
入会時期	A 年中	B 年度会費納付		C 年度会費納付	—
	B 年 1-3 月		(年度末までに) B 年度会費納付	C 年度会費納付	—
	B 年 4-7 月			B 年度会費納付	免除

以上

II. 報告事項

1. 2023 年度学会賞等の受賞者

- (1) 学会賞 白井 誠之 (岩手大学 理工学部)

受賞題目「スメクタイト系粘土の固体触媒利用に関する研究」

- (2) 奨励賞 藤村 卓也 (島根大学 総合理工学部)

受賞題目「粘土表面を反応場とする多段階光反応系の構築」

- (3) 技術賞 鈴木正哉、森本和也、宮原英隆、万福和子 (産業技術総合研究所)

受賞題目「粘土系吸着剤を用いた施設園芸農業分野への応用展開」

- (4) 論文賞 T. Nakato, W. Ishitobi, E. Mouri

受賞論文: ELECTRIC ALIGNMENT OF LIQUID CRYSTALLINE BINARY COLLOIDS OF MICROMETER-SIZED NIOBATE AND CLAY NANOSHEETS, Clay Science, 26, 17-24 (2022).

S. Hara, K. Takeuchi

受賞論文: A STUDY ON QUANTIFICATION OF PLASTICITY OF CLAYS BY IMAGE PROCESSING METHOD, Clay Science, 26, 25-38 (2022).

2. 2023 年度学術振興賞の受賞者

木下麗羅 (東京電機大学大学院 工学研究科)

受賞発表: Syntheses and characterization of clay-polymer nanocomposites containing tetramethylbenzidine for detection of hazardous organic compounds

3. 第 66 回粘土科学討論会の開催状況 (8月12日現在の参加申込状況)

- (1) 参加登録者数: 96 名 + 6 名 (招待講演者) 合計 102 名

(内リモート参加 2 名、オンサイトとリモートの両方参加 12 名)

- (2) 発表件数: 口頭 36 件, ポスター 27 件, シンポジウム 6 件、特別講演 1 件 合計 70 件

- (3) 懇親会申し込み者数: 69 名 (招待者 6 名含め参加予定者 75 名)

- (4) 見学会申し込み者数: 14 名

4. 理事の削減について

2023年8月19日(土)に開催された2023年度第4回理事会において、現行の役員選出規定を次のように改めることが決議された。

(1) 変更の理由

現在日本粘土学会の理事は29名である。この数は正会員が現在の約2倍であった平成9・10年度(1997・1998年度)と同じであり、現在の学会の規模から過剰であり、削減が適当である。

(2) 変更の内容

変更の内容は以下の通り。

(下線は変更部分)

現行	変更案
役員選出規程第4条(2) 「理事 会長以外の理事候補者の被推薦者について、30名以内の連記無記名により投票を行い、会員規程 による各部門の最高得票者1名(計6名)を理事候補者とし、残り20名を部門にかかわらず得票順に 候補者とする。」	役員選出規程第4条(2) 「理事 会長以外の理事候補者の被推薦者について、 <u>30名以内の連記無記名</u> により投票を行い、 <u>会員規程 による各部門の最高得票者1名</u> (計6名)を理事候補者とし、残り20名を部門 にかかわらず 得票順に <u>20名を理事候補者</u> とする。」
役員選出規程第4条(4) 「2期連続して役員に就任した者は、引き続く3期目に被推薦者とはなれない。ただし、会長候補者、会長指名理事候補者、監事候補者となることはできる。」	削除
役員候補者推薦委員会第6条 3 「推薦委員は被推薦者にはなれない」	役員候補者推薦委員会第6条 3 「推薦委員は自薦による被推薦者にはなれない」

以上

5. その他